



【お問い合わせ】
可茂消防八百津出張所
電話 43-0476

!! 暖房器具の取扱いにご注意を !!

寒い季節になりました。皆さんのお宅ではストーブを使用されていますか？家の中に「火」を入れるということにもっと注意して下さい。ストーブ火災のほとんどは人災です。「ちょっとだから大丈夫」や「うっかり」をなくせば、安全に使用することが出来ます。家族のためにも、自分のためにも、今一度、ストーブの使用方法をおさらいしてみましょう。

- ①ストーブが布団やカーテンに近くないですか？
- ②ストーブの上に洗濯物を干していませんか？
- ③灯油タンクの蓋が、きちんと閉まっていますか？
- ④外出、就寝前には必ず消火していますか？
- ⑤スプレー缶がストーブの近くにありませんか？
- ⑥火が着いたまま移動していませんか？
- ⑦ストーブにホコリが溜まっていますか？
- ⑧耐震自動消火などの安全装置は付いていますか？



◎1時間に1～2回、換気をしましょう。

ストーブに限らず家庭用ファンヒーターなどの暖房器具は、換気せずに使用を続け、酸素が不足すると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生する恐れがあります。

また、乳幼児や呼吸器疾患などの方は、体調不良になる恐れがあります。

◎寝るときは必ず消火を！

睡眠中も暖房器具を付けたままにしたいところですが、ファンヒーターやストーブを付けたまま寝る事は危険です。睡眠中に一酸化炭素中毒で死亡したと見られる事故は後を絶ちません。不完全燃焼防止装置など、安全装置が完備されているとはいえ、全て機械に依存するのは危険です。自らの手で事故を防止する意味からも寝るときは必ず消火を確認してください。



「ゆく年くる年 みんなで守ろう 地域の安全」 年末年始 地域安全運動

12月11日～22年1月5日

年末年始は、金融機関などを狙った強盗事件、一人歩きの女性やお年寄りを狙ったひったくり事件、交通事故、雑踏事故などの発生が予想されます。

また、振り込め詐欺や子どもに対する声かけ事案も多く発生しています。

このため、地域住民と自治体、関係機関、警察が相互に連携して地域安全活動を強力に推進して犯罪や事故の未然防止を図り、県民が安全で平穏な新年を迎えることを目的としています。

主な活動内容

- より多くの警察官が街頭に出て、金融機関やコンビニなどに対する立ち寄り等の警戒活動を強化します。
- 自治体や防犯ボランティアのみなさんと協力して合同パトロール活動を行います。



みなさんも、この機会に「自分の地域は自分で守る」という自主防犯の意識を高め、自宅や車の確実な鍵かけ、地域で連携しての子どもの見守り活動などの防犯活動等を行っていただき、安全で平穏な新年を迎えられるようにしましょう。

